平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月30日

上場会社名　株式会社 藤商事　　上場取引所　大
コード番号　6257　URL　http://www.fujimarukun.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松元　邦夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長　(氏名) 當仲　信秀　TEL 06-6949-0323

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　平成24年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	28,567	29.6	5,868	32.1	5,917	31.8	2,614	△1.9
24年3月期第2四半期	22,038	101.7	4,443	—	4,490	—	2,665	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	10,500.48	—
24年3月期第2四半期	10,704.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	57,641	45,821	79.5
24年3月期	56,958	43,797	76.9

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　45,821百万円　24年3月期　43,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2,250.00	—	2,250.00	4,500.00
25年3月期	—	2,500.00			
25年3月期(予想)			—	2,500.00	5,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,200	14.3	7,600	4.2	7,600	3.7	4,600	12.5	18,477.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料3ページの「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	254,955 株	24年3月期	254,955 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	6,000 株	24年3月期	6,000 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	248,955 株	24年3月期2Q	248,955 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページから3ページの「１．当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成24年11月５日（月）にアナリストおよび機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（1）経営成績に関する定性的情報 …… ２
（2）財政状態に関する定性的情報 …… ２
（3）業績予想に関する定性的情報 …… ３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… ３
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ３
３．四半期財務諸表 …… ４
（1）四半期貸借対照表 …… ４
（2）四半期損益計算書 …… ６
第２四半期累計期間 …… ６
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… ７
（4）継続企業の前提に関する注記 …… ８
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… ８

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより、緩やかな回復傾向にありますが、欧州の財政不安などを背景とした海外経済の減速懸念や円高の長期化に加え、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、平成23年のパチンコ参加人口が前年比410万人減少の1,260万人となり、市場規模は4,900億円減少の18兆8,900億円となりました（(財)日本生産性本部「レジャー白書2012」）。パチンコ遊技機では、１円パチンコに代表される低貸玉営業での遊技機の設置比率が上昇するとともに、従来からの営業形態での集客や稼働が伸び悩み、収益面では厳しい状況が続いております。

このため、遊技機の購入につきましても慎重な姿勢により、一部の話題性の高い機種や人気シリーズの後継機種など、安定稼働が見込める機種に需要が集中いたしました。

一方、パチスロ遊技機では、人気機種を中心として収益面は堅調に推移しており、引き続き需要は回復基調にあります。

このような状況のもと当社は、パチンコファンの皆様に長期間楽しんでいただける「オモシロさ」にこだわり、新規性や独自性の追求などによる商品力の向上とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。

パチンコ遊技機につきましては、実写とアニメに劇画を加え演出の奥深さを追求した時代劇パチンコや著名人の全面プロデュースによる機種のほか、前事業年度発売機種のシリーズとして手軽に安く遊べるタイプなどを追加発売いたしました。

これらの取り組みにより、各機種の販売活動は順調に推移し、特に前事業年度に好評を博した「ＣＲリング　呪いの７日間」シリーズの手軽に安く遊べるタイプは、当初の計画を上回る販売台数となりました。

パチスロ遊技機につきましては、２機種を市場投入いたしました。

この結果、当第２四半期累計期間の業績につきましては、売上高285億67百万円（対前年同期比29.6%増）、営業利益58億68百万円（同32.1%増）、経常利益59億17百万円（同31.8%増）、四半期純利益26億14百万円（同1.9%減）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、「ＣＲデビルマンレディー」シリーズ（平成24年４月発売）、「ＣＲ哭きの竜天運」シリーズ（平成24年５月発売）、「ＣＲ桃太郎侍　怒」シリーズ（平成24年７月発売）、「つんく♂プロデュースＣＲ元祖ハロー！プロジェクト」シリーズ（平成24年９月発売）を市場投入したほか、前事業年度発売機種の手軽に安く遊べるタイプなど（「ＣＲ地獄少女」、「ＣＲリング　呪いの７日間」、「ＣＲ　ＲＡＶＥエンドレスバトル」）を追加発売いたしました。

以上の結果、販売台数は88千台（対前年同期比30.8%増）、売上高281億28百万円（同30.7%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機では、「パチスロ天　天和通りの快男児」（平成24年５月発売）、「美らがっぱ」（平成24年７月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は１千台（対前年同期比20.6%減）、売上高４億39百万円（同15.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ６億83百万円増加し、576億41百万円となりました。

これは主に、原材料及び貯蔵品が11億12百万円、受取手形及び売掛金が９億94百万円増加したことなどに対し、現金及び預金が15億47百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ13億40百万円減少し、118億20百万円となりました。

これは主に、買掛金が４億55百万円増加したことなどに対し、未払法人税等が７億76百万円、未払消費税等が４億45百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ20億23百万円増加し、458億21百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ15億47百万円減少し271億92百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、６億66百万円（前年同期は64億17百万円の資金の増加）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益50億45百万円、仕入債務の増加額７億57百万円などが増加の要因であり、法人税等の支払額34億17百万円、たな卸資産の増加額10億94百万円、売上債権の増加額９億94百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、16億54百万円（前年同期は４億70百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入２億90百万円などが増加の要因であり、投資有価証券の取得による支出９億19百万円、有形固定資産の取得による支出７億92百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、５億59百万円（前年同期は５億59百万円の資金の減少）となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年９月14日に公表しました、「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,740	27,192
受取手形及び売掛金	5,701	6,695
有価証券	1,492	1,588
商品及び製品	27	10
原材料及び貯蔵品	3,225	4,337
前渡金	3,381	3,525
繰延税金資産	1,830	2,077
その他	144	141
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	44,534	45,559
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,076	1,725
機械及び装置（純額）	406	338
工具、器具及び備品（純額）	955	926
土地	3,778	3,231
その他（純額）	53	51
有形固定資産合計	7,270	6,273
無形固定資産	179	198
投資その他の資産		
長期前払費用	1,950	1,937
その他	3,302	3,952
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	4,973	5,609
固定資産合計	12,423	12,082
資産合計	56,958	57,641

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,344	5,800
未払法人税等	3,482	2,705
未払消費税等	589	144
賞与引当金	480	501
役員賞与引当金	180	―
その他	1,630	1,213
流動負債合計	11,707	10,365
固定負債		
退職給付引当金	768	774
その他	684	680
固定負債合計	1,453	1,455
負債合計	13,160	11,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	37,630	39,684
自己株式	△486	△486
株主資本合計	43,683	45,737
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	114	84
評価・換算差額等合計	114	84
純資産合計	43,797	45,821
負債純資産合計	56,958	57,641

(2) 四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	22,038	28,567
売上原価	11,350	15,264
売上総利益	10,687	13,303
販売費及び一般管理費	6,244	7,435
営業利益	4,443	5,868
営業外収益		
受取配当金	6	18
受取賃貸料	8	9
利用分量配当金	7	10
受取ロイヤリティー	9	10
還付加算金	35	―
その他	22	29
営業外収益合計	90	78
営業外費用		
シンジケートローン手数料	22	22
賃貸収入原価	12	2
その他	8	4
営業外費用合計	43	29
経常利益	4,490	5,917
特別利益		
固定資産売却益	181	0
特別利益合計	181	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	7	0
減損損失	―	850
投資有価証券評価損	―	20
特別損失合計	7	872
税引前四半期純利益	4,664	5,045
法人税、住民税及び事業税	1,650	2,666
法人税等調整額	348	△235
法人税等合計	1,999	2,430
四半期純利益	2,665	2,614

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,664	5,045
減価償却費	954	1,035
減損損失	－	850
投資有価証券評価損益（△は益）	－	20
貸倒引当金の増減額（△は減少）	23	1
賞与引当金の増減額（△は減少）	184	21
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△180
退職給付引当金の増減額（△は減少）	6	5
受取利息及び受取配当金	△14	△28
固定資産売却損益（△は益）	△181	0
固定資産除却損	7	0
売上債権の増減額（△は増加）	△2,292	△994
たな卸資産の増減額（△は増加）	2,018	△1,094
未収消費税等の増減額（△は増加）	337	－
長期前払費用の増減額（△は増加）	30	△468
仕入債務の増減額（△は減少）	195	757
未払金の増減額（△は減少）	△365	△261
未払消費税等の増減額（△は減少）	395	△445
その他	△666	△216
小計	5,299	4,049
利息及び配当金の受取額	21	34
法人税等の支払額	△3	△3,417
法人税等の還付額	1,099	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,417	666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△801	－
有価証券の償還による収入	1,600	290
投資有価証券の取得による支出	△1,323	△919
有形固定資産の取得による支出	△653	△792
有形固定資産の売却による収入	751	0
無形固定資産の取得による支出	△25	△45
その他の支出	△22	△191
その他の収入	4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△470	△1,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△559	△559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559	△559
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,387	△1,547
現金及び現金同等物の期首残高	20,674	28,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,062	27,192

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。